

覚えておきたい言葉

名前

「詩」に関する言葉

用語	意味	例
連	文章でいう段落のような内容のまとまりをいう。連と連の間は一行空いている。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">連</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-right: 20px;">一行空き</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">連</div>
倒置法 (とうちほう)	文章の中の言葉の順番を入れかえて強める方法。	ぼくは走った、だれよりも早く。
反復法	同じ言葉や表現をくり返し使うことで、リズムを整えたり強めたりする方法。	降った降った雨が降った。 降った降った雪が降った。
対句法	関係があり、組み立て方が同じまたは似ている言葉や文などを並べてリズムを整え、変化をつける方法。	<u>ぼくが</u> 笑うと <u>お花も</u> 笑う。 <u>ぼくが</u> おこると <u>お花も</u> おこる。
比喩法 (ひゆほう)	あるものを他のものにたとえて表現する方法。	まるでヒョウのように走る。
擬人法 (ぎじんほう)	人間ではないものを人間のように見て、たとえる方法。比喩法の仲間。	太陽は、 <u>にこにこ</u> 笑って、 <u>ぼくに話しかけた</u> 。
体言止め	行の終わりを名詞で止めて印象（感じ方）を強める方法。	いつもしかられてばかりの <u>ぼく</u> 。
省略法	言葉を省略し、余韻（よいん）をもたせる方法。	お母さんは、泣いた。 <u>ぼくも、…。</u>